

## 二輪車用ETC2.0車載器

## 取扱説明書／取付手順書

MSC-BE700S

◇本品は、二輪車専用です。

ETC2.0車載器をお買上げいただき、ありがとうございます。  
正しく安全にお使いいただくために、本書をよくお読みください。  
本書は、必要なときに参照できるよう大切に保管してください。

販売店様へ 本書は、必ずお客様へお渡しください。

※ 本書の内容の一部、又は全部を無断で転載することは固くお断りします。

※ ETCは、各高速道路会社等の登録商標です。

※ **ETC2.0** ETC2.0ロゴは、一般財団法人ITSサービス高度化機構(ITS-TEA)の登録商標です。

## 目次

## 取扱説明書

ご使用の前に	1	道路事業者からのお願い	1~3
	2	道路管理者からのお知らせとお願い	4~5
	3	安全にお使いいただくために	6~7
	4	車載器の各部の名称と主な機能	8
	5	ETC2.0車載器の機能について	9
	6	GPS機能について	10
		■GPS信号受信時のLED表示	10
	7	ETCカードの挿入方法(走行前)	11
	8	車載器の表示とメッセージ(電源投入時とカード挿入時)	
		■電源を投入してください(エンジン始動)	12
使い方		■ETCカード挿入時のLED表示	12
		■ETCカード未挿入時のLED表示	12
		■車載器未セットアップ時のLED表示	12
		■車載器故障時のLED表示	12
	9	車載器の表示とメッセージ(走行時)	
		■入口ETCゲート(検札用)通過時のLED表示	13
		■出口ETCゲート(精算用)通過時のLED表示	13
		■予告アンテナ・お知らせアンテナ・チェックバリア	
		通過時のLED表示	14
		■ITSスポット通過時のLED表示	14

必要 な と き に	10	表示内容一覧	
		■正常時の表示内容一覧(カード挿入時)	15
		■異常時の表示内容一覧	15
	11	トラブルシューティング	16
	12	ETC利用Q&A	17~18

## 取付手順書

取 付 手 順	1	取り付け上の注意事項	19~20
	2	セットアップについて	20
	3	構成部品	20
	4	各部の名称・他	21
	5	取り付け方法	
	1	取付作業前の確認	22
	2	アンテナの設置条件	22~23
	3	取付手順	24~26
	4	取付作業後の確認	27~28

製品仕様／ラベル／特記事項 29

お問い合わせ一覧 30

保証書 31

## 1 道路事業者からのお願い（二輪車ETC用）

### ■ はじめに

必ず、ETCシステム利用規程等をお読みください。

- ETCシステム利用規程、同実施細則及び二輪車ETC登録規約（以下「利用規程等」という。）、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。また、特にエラーや事故の発生原因になり得る重要な事項について、以下に記載しましたので、ETCのご利用前に、利用規約等と併せて必ずお読みください。

### ■ 乗車前のご注意

専門の取付店で車載器を取り付けてください。

- 車両への車載器の取り付けは、専門の取付店等で確実に行ってください。
- 車載器メーカーが販売する車載器を分解・改造することは、禁止されています。分解・改造された車載器でETC無線走行を行わないようお願いします。  
※車載器の取り付けは、車載器メーカーの示す方法で行ってください。メーカーが示す方法以外（外部電源、外部アクセサリ用の電源ソケット等による簡易取付など）では、利用できません。  
※分解・改造された車載器は、利用規程等に違反するため、セットアップすることはできません。  
※四輪車用ETC車載器を二輪車に取り付けた場合も、利用規程等に違反するため、セットアップすることはできません。

ETCカードを車載器に確実に挿入し、エラー等がないかの確認を！！

- ご乗車時に、ETCカードを車載器へ確実に挿入し、エラー等がないかを確認してご利用ください。ETCカードが確実に挿入されていても、車載器が正しく作動していない場合、開閉バーが開きません。車載器へのETCカードの挿し忘れ、挿し込み不良により、開閉バーが開かないケースが多発しています。  
※ETCカードの挿し込み方向（前後・表裏）にご注意ください。  
※ETCカードを車載器へ挿入し、ETCが利用可能である旨の音声案内等を確認してください。  
※料金所の手前等に、ETCカードが正常に挿入されていないことをお知らせするアンテナが設置されている箇所があります。ETCカードが正常に挿入されていないことのお知らせがあった場合には、ETC無線走行はできませんので、一般車線又は「ETC／一般」と表示している車線（以下、「混在車線」という。）をご利用ください。  
※何らかの問題がある場合、車載器によっては、音声や画面によってエラーが表示されます。ETCカード挿入の際や、料金所通過の際にはご注意ください。なお、ETCカードの挿入は、エラーの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 車載器のアンテナ周辺に物を置いたり、取り付け箇所の変更などをしないでください。正常に通信できず開閉バーが開かない場合があります。

### ■ ETCカードの有効期限のご注意

- 有効期限切れのETCカードは、ご利用いただけません。車載器によっては、有効期限切れのETCカードを挿入してもエラー表示がされない場合がございますので、お手持ちのETCカードに記載された有効期限をあらかじめご確認ください。

### ■ ETCカードの保管上のご注意

- ETCカードを車載器へ挿入したまま放置すると、カードが高温で変形し、車載器が正常に動作しなくなることがあります。また、ETCカードに強い力を加えることも変形の原因となりますので、取扱いにはご注意ください。
- 盗難防止の観点から、車両から離れる際はETCカードを車載器から抜いて、携行していただくことをお勧めします。
- なお、SA・PA等で休憩後、走行を再開される際には、同一のETCカードを車載器へ確実に挿入してください。入口料金所を通過の際に挿入されていたETCカードと異なるETCカードを挿入した場合、出口料金所では開閉バーが開きません。
- ETCカードにはデータを読み書きするための金属端子があります。この部分が汚損しますと、ETC車線通行時、正常に通信ができず開閉バーが開かない可能性がありますので、取扱いにご注意ください。清掃される場合には、市販のICカードクリーナーをご利用ください。

## ■ ETC車線通行時のご注意

十分な車間距離を取り、20km/h以下に減速、徐行してください！！

- ETC車線に設置されている開閉バーは、車載器とアンテナとの間の通信等が正常に行なわれなかった場合には、開かないことがありますので、ご注意ください。  
また、前車に接近して通行しようとしたときにエラーが発生すると、前車通過後、開閉バーが閉まりますので、ご注意ください。
- 料金所では、案内板などにより、ETC無線走行が利用可能な車線(ETC専用車線：「ETC専用」又は混在車線：「ETC／一般」)であることを確認して、進入してください。
- ETC車線を通行する際は、20km/h以下に減速して進入し、ETC車線に設置されている開閉バーが開いたことを確認のうえ、徐行して通過していただくようお願いします。  
※利用規程等によらないご利用方法より、道路設備に損傷を与えた場合には、復旧に要する費用をご負担していただく場合がありますので、ご注意ください。
- ETC車線にて、並走、追抜き、蛇行、斜行、千鳥走行及び車群走行を行った場合、ETCが正常に動作せず、重大事故につながる可能性があります。十分な車間距離をとり、1台ずつまっすぐに進入してください。
- 渋滞などでETC車線に他の車両が停車している場合も、絶対に追抜きはしないでください。
- ETC車線では路面表示(レーンマーク)に従って走行してください。
- 一部の料金所においては、料金所左側のETC車線の利用を推奨しています。対象となる本線料金所では、「二輪ETC左へ」などの誘導案内板を設置しています。
- 入口料金所のETC車線で通信エラー等により、通行券を受け取られた場合には、出口料金所での通行料金のお支払いは、係員のいる車線(一般車線又は混在車線)で一旦停止して、ETCカードと通行券を係員にお渡しください。料金精算機のある車線では、「係員呼出ボタン」を押して係員を呼び出してください。
- 通行料金をお支払いいただく料金所で異常が発生した場合は、係員へお知らせいただき、係員の案内に従ってください。
- 入口料金所でETCで通行した場合、出口料金所でETC車線がご利用できない場合又は設置されていない場合は、一旦停車してETCカードを係員にお渡しください。  
なお、料金所の無い出口の場合は、入口で使用したETCカードを抜かずそのままご通行ください。
- 機器の点検等により、ETC車線を閉鎖する場合がございます。通行料金をお支払いいただく料金所では、係員のいる車線(一般車線又は混在車線)でもETCカードで支払いいただくことができ、車載器が適正に取り付けられていることをご確認させていただいたうえで各種割引等もご利用いただけます。
- 有料道路への進入から退出までは、同一のETCカードを継続してご使用ください。料金所以外にもETCアンテナが設置されている箇所があり、走行中、ETCカードには通行料金の計算に必要な情報が随時記録されます。途中でETCカードを入れ替えたりむやみに抜き差しされますと、正しく通行料金が計算されない場合やエラーを引き起こす場合がありますのでご注意ください。
- 入口料金所でETCが正常に通信できなかった場合(入口料金所通過直後の車載器のインジケータランプにご注意ください。)、は、出口料金所では、係員のいる車線(一般車線又は混在車線)で一旦停車し、係員にお申し出ください。料金精算機のある車線では、「係員呼出ボタン」を押して係員を呼び出してください。  
なお、料金所の無い出口の場合は、ご走行後、当該道路を管理する道路事業者にお申し出ください。
- 被けん引自動車と連結して通行する場合は、出口料金所及び検札料金所で一般車線又は混在車線を通行し、いったん停車して係員にETCカードを手渡しください。ただし、出口料金所がスマートICである場合は、開閉棒の開閉にかかわらず、開閉棒の手前で停車して係員に申し出てください。

## ■ スマートICをご利用の場合は、次の事項にご注意ください

- スマートICは、ETC専用インターチェンジです。所定の方法で車両に取り付け・セットアップされた車載器に、有効なETCカードを確実に挿入し、ETCシステムをご利用可能な場合に通行することができます。
- 営業時間、出入方向及び対象車種等に制約がある場合がありますので、ご注意ください。
- スマートICでは、その他の料金所のETCシステムとは異なり、車両が停止した状態で通信のやりとりが行われ、開閉バーが開くシステムとなっておりますので、必ず開閉バーの手前の停止線で一旦停止してください。停止位置が適切でない場合、通信できない場合があります。  
なお、一旦停止してもバーが開かない場合には、車線に設置されたインターホン等で係員に連絡し、係員の案内に従ってください。
- 通行止めなどを実施した場合や道路を管理するうえで必要な場合、やむを得ず、予告なく出入口を閉鎖することがあります。この場合、通行可能な最寄りのICをご利用ください。
- 退出路が設置されているスマートICにおいては、エラー等で正常にETC通信ができない場合、直進せずに退出路へお進みいただくことが可能です。標識や路側表示をよくご確認の上、注意して走行いただきますようお願いいたします。

## ■ もしも、開閉バーが開かなかったら……

- ETC車線を通行中に開閉バーが開かなかった際は、後続車両による追突事故の防止などお客様の安全を確保するため、開閉バー及び後続車両等に十分注意を払い、安全を確認の上、開閉バーを避けてETC車線から退避してください。この場合、駐停車が禁止されていない場所から安全を確認の上、遅滞なく当該道路を管理する道路事業者（高速道路会社など）に連絡し、指示に従ってください。
- ETC車線から後退、Uターン等をしたり、他の車線に移動しないでください。  
※高速道路上での後退等は後続車との接触事故の危険性が高く、重大事故に繋がります。  
※後退等して他の車線に入りなおすことは、お客さま及び後続車のエラー発生の原因となります。

## ■ 車載器の再セットアップ

車両ナンバー変更時（車載器付きの中古車購入等）、車載器の移し替え時は再セットアップを！！

- 車載器付きの中古車を購入又は譲渡を受ける場合・住所変更等により車両のナンバープレートが変更になる場合・車載器を他の車両に移す場合・けん引ができる構造に変更する場合は、再度、車載器のセットアップ（車載器への車両情報の登録）が必要となります。  
再度車載器をセットアップする場合は、車載器をお買い求めになった販売店又は最寄りのセットアップ店にご相談ください。

正しくセットアップ及び再セットアップを行っていない場合

- 正しいETCのご利用とならず、開閉バーが開かない可能性があります。
- 正しい通行料金が請求されない場合があります。
- ETC利用照会サービスなど、一部のETCサービスがご利用いただけません。
- 各種ETC割引等が適用されない場合があります。

## ■ 車載器管理番号に関するお願い

車載器管理番号は、ETCの各種登録型サービスのために必要な番号です。

- 車載器管理番号は、お持ちの車載器又は車載器のパッケージに記載されている19桁の固有の番号で、ETCの各種登録型サービスを受ける場合又は今後の新たなサービスを受けるにあたって必要な番号です。「ETC車載器セットアップ申込書・証明書（お客様保存用）」を大切に保管していただくとともに、車載器管理番号を別に記録し、保管するようにしてください。

## ■ 障害者割引制度におけるETC利用について

- ETC無線走行で障害者割引の適用を受けるには、事前に市区町村の福祉担当窓口での手続きと、併せて有料道路事業者が設置する窓口への登録が必要になります。両方の手続きがなされていない場合、ETC無線走行での障害者割引が適用されません。
- 事前に登録されたETCカードを、登録された車載器（手帳に記載された車両に取り付けられ、該当車両でセットアップ作業を行ったもの）に挿入し、ETC車線を無線通行した場合のみ割引が適用されます。  
※既にETC無線走行以外のお支払での障害者割引適用の手続きをしている場合でも、改めて同様の手続きと登録を行う必要があります。  
※通行料金の請求を受ける料金所でETC車線が閉鎖されている場合は、係員のいる車線（一般車線又は混在車線）で、一旦停車して係員にETCカードを渡し、身体障害者手帳又は療育手帳を呈示して確認を受けてください。料金精算機のある車線では、「障がい者用係員呼出ボタン（レバー）」を操作して係員を呼び出してください。  
※ETC無線走行で障害者割引の適用を受けようとする場合でも、必ず身体障害者手帳又は療育手帳を携行してください。（ETC車線が閉鎖されている場合で、上記手帳をご呈示いただけない場合は、割引が適用できません。）  
※障害者割引には有効期限があります。ご利用の前に有効期限を確認してください。なお、有効期限の更新手続きは市区町村の福祉担当窓口で行ってください。  
※登録済のETCカード、ETC車載器、車両を変更される場合は、ETCのご利用前に市区町村の福祉担当窓口で変更手続きを行ってください。

## 2 道路管理者からのお知らせとお願い

次のホームページでも説明をご覧くださいませ。

国土交通省ホームページ

[https://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot\\_dsrc/oshirase.html](https://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/oshirase.html)

### ■ プローブ情報の利用及び取り扱いについて

国土交通省、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社、阪神高速道路株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社及び広島高速道路公社（以下、「道路管理者」と言います。）は、ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビからプローブ情報を収集する場合における情報の利用及び取り扱いについて、次の通りお知らせします。

プローブ情報をご提供いただくことで、より精度の高い道路交通情報などをドライバーの方々に提供することなどが可能となり、道路がより使いやすくなると期待されます。また、交通事故の削減や道路渋滞の緩和など環境負荷低減の取り組みにも活用する予定です。

なお、道路管理者はこのお知らせを変更することがあります。この場合には変更後のお知らせを道路管理者Webサイト等に掲載します。

### 1. プローブ情報

(1) ここで「プローブ情報」とは、ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理するITSスポット（DSRC路側無線装置）※1と無線通信を行うことによりETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビから収集される情報を言います。

なお、このプローブ情報から車両又は個人を特定することはできません。

プローブ情報として収集する情報は次の通りです。※2

- ・ ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビに関する情報（無線機に関する情報（製造メーカー、型番等）、カーナビゲーションに関する情報（製造メーカー、型番等））
- ・ 車両に関する情報※3
- ・ 走行位置の履歴※4
- ・ 急な車両の動きの履歴※4

※1：道路管理者とプローブ情報の収集に関する協定等を結んだ者が管理するITSスポットを含みます。

※2：ただし、個別サービスの種類によっては、車載器のID付きプローブ情報として収集される情報以外の情報を利用する場合があるため、このようなサービスを利用する場合には、その利用者取り扱いについて、当該サービス提供者の説明を受け、同意した上で当該サービスを利用してください。

※3：車載器のセットアップの際にご提供いただいた車両情報の一部です。なお、この情報に、車台番号や、自動車登録番号又は車両番号の4桁の一連番号は含まれないため、車両又は個人を特定することはできません（例：「品川 500 あ 1234」では「1234」の部分は含まれません。）。

※4：走行開始地点や走行終了地点などの個人情報にかかわる情報は、収集されません。

### 2. プローブ情報の利用目的

(1) 道路管理者は、プローブ情報を道路交通情報や安全運転支援情報の提供などドライバーへのサービス、道路に関する調査・研究、道路管理の目的に利用します。※5

※5：例えば、収集した走行位置の履歴を統計的に処理することで、区間の走行所要時間や、渋滞の影響を高い精度で把握し、ドライバーに情報提供することができます。また、急な車両の動きを統計的に処理することで、道路上の障害物の検知や、走行に注意が必要な箇所を把握し、ドライバーに情報提供することが考えられます。

(2) 道路管理者は、(1)の目的以外でプローブ情報を利用しません。

### 3.プローブ情報の収集

- (1) 道路管理者は、道路管理者が管理するITSスポット※1によって、プローブ情報を収集する場合があります。
- (2) ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビ利用者は、設定により、1. (1) で示す情報のうちカーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴について、道路管理者への提供の可否を選択することができる場合があります。※6 ※7  
 選択の方法はETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビの取扱説明書をご覧ください。  
 ※6：カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供する機能の無いカーナビゲーションは該当しません。  
 ※7：ETC2.0対応カーナビと連動せず単独でプローブ情報を記録できるETC2.0車載器の利用者は、設定により道路管理者への(2)で示す情報の提供を拒否する選択を行えません。
- (3) ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビ利用者は、カーナビゲーションに関する情報、走行位置の履歴、急な車両の動きの履歴を提供することで、これを利用した様々な追加サービスの提供を受けられる場合があります。

### 4.プローブ情報の第三者への提供

- (1) 道路管理者は、2. (1) の目的のため、プローブ情報を統計的に処理した情報を、他の情報提供主体、大学等の研究機関、その他第三者に提供する場合があります。
- (2) 道路管理者は、ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビ、ITSスポット等の関係設備について、障害発生時の対応や、これらの研究・開発の目的のため、プローブ情報又はこれを統計的に処理した情報を、製造・開発メーカーに提供する場合があります。
- (3) 道路管理者は、(1) 及び(2) 以外でプローブ情報を第三者に提供しません。

### 5.プローブ情報の取り扱い

- (1) 道路管理者は、プローブ情報を安全に管理し、情報の漏えい等の防止に努めます。
- (2) 道路管理者は、プローブ情報が不要となった時点で、当該プローブ情報を消去します。
- (3) 道路管理者は、プローブ情報の提供先における情報の安全管理について、提供先を適切に指導します。

### ■ 問い合わせ先

国土交通省 道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室  
 03-5253-8111(代)  
 東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社、首都高速道路株式会社  
 保安・交通部管制技術グループ、阪神高速道路株式会社情報システム部システム技術課、本州四国  
 連絡高速道路株式会社保安計画部保安管理課、名古屋高速道路公社、福岡北九州高速道路公社、広島  
 高速道路公社

2015年 7月改定

### 3 安全にお使いいただくために

#### ■ 使用上の注意事項

本品は、正しく取り扱うことにより、安全にお使いいただけます。使用上の注意事項を良くお読みになり、必ずお守りください。

- ・ 本品は、「ETCシステム利用規程」(各道路事業者)「ETCカード利用規約」(ETCカード発行者)に従った利用を前提に設計したものです。
- ・ 本書にある警告、注意などについては、弊社が予見できる範囲のものであり、全てではありません。
- ・ 本書の一部、又は全部の転載・複製は著作権者の許諾が必要になります。
- ・ 本書は、日本語を母国語とする人を対象にして作成しています。
- ・ イラストは、見やすくするため簡略化しており、実際の形とは多少異なります。

本書では、特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。



警告

この記載内容を守らなかった場合、死亡又は重症を負う可能性があることを示しています。



注意

この記載内容を守らなかった場合、けがをしたり物的な損害を受けたりする可能性があることを示しています。

#### 他表示について



禁止

してはならないことを示しています。



注意

この記載内容を守らなかった場合、製品の誤動作の発生が想定される内容、又は一般的な注意事項を示しています。



アドバイス

より安全、快適にご使用いただく上で、知っていただきたいことを記載しています。

ここには、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



警告

- ⊘ 走行中にETCカードの抜き挿しを行わないでください。本品の故障やETCカードの破損、事故の原因となります。
- ⊘ 正常に動作しない、煙が出る、変な臭いがするなどの異常な状態で、本品を使用しないでください。故障、火災、事故の原因となります。直ちにお買い上げの店舗にご相談ください。
- ⊘ 有料道路への進入から退出までは、同一のETCカードをご使用ください。開閉バーが開かず、事故の原因となったり、正しく通行料金が計算されない場合があります。
- ⊘ 本品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障、事故の原因となります。又、改造は電波法違反となります。
- ⊘ アンテナ付近に金属部品、メッキ部品、チタンコートスクリーン等を取り付ける際は、お買い上げ店舗へご相談ください。取り付け場所によって通信不具合により開閉バーが開かず、事故の原因となります。
- ⊘ アンテナ部に雪が積もったり、物が置かれている場合は、走行前に取り除いてください。通信不具合により開閉バーが開かず、事故の原因となります。
- ⊘ アンテナの近くに電波を発する機器を設置しないでください。通信不具合により開閉バーが開かず、事故の原因となります。



注意

- ⊗ 本品は、二輪車専用です。四輪車への取り付けはできません。
- ⊗ ETC車載器とETC2.0車載器の両方を装着することはできません。
- ⊗ 水、湿気、ほこり等の多い場所では、ETCカードの抜き挿しをしないでください。故障の原因となります。
- ⊗ 本品を清掃する際や、ETCカードを挿入する際は、本体内部に異物や水分が入らないようにしてください。故障の原因となります。
- ⊗ 車両を洗車する際は、本品に水を掛けしないでください。故障の原因となります。
- ⊗ 本品の各ケーブルを引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。故障の原因となります。
- ☆ 本体やアンテナを移動する際は、お買い上げの店舗へご依頼ください。本品の取り付けには、専門技術が必要です。
- ☆ 転倒、事故等で、取付状態が変わった場合は、必ずお買い上げ店舗にご相談ください。
- ☆ 有料道路を走行する際は、事前にETCカードを正しく挿入し、本品が正常に動作するか確認してください。
- ☆ ETCカードが変形している場合は、本品に挿し込まないでください。故障の原因となります。
- ☆ 本体カバーは、ETCカードの抜き挿しをする以外は、走行中・停車中にかかわらず、ロックレバーでカバーを確実に閉めた状態で、ご使用ください。故障の原因となります。
- ☆ 本体が汚れたときは、乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を布にしみ込ませ、きれいに拭き取り、乾いた布で仕上げてください。変色、破損の原因となります。
- ☆ オイル、ガソリン、シンナー、ベンジン等の有機溶剤が本品に付着した際は、直ちに拭き取ってください。変色、破損の原因となります。
- ☆ ETC車線の走行に関しては、2ページ<■ETC車線通行時のご注意>や下記のホームページを参照してください。

ETC総合情報ポータルサイト <https://www.go-etc.jp/motorcycle/index.html>

## ■ お願い

- ⊗ 本体裏面に貼られている車載器認証ラベルは、絶対にはがさないでください。
  - ・ 車載器認証ラベルは、電波法に適合している証明です。
  - ・ 車載器認証ラベルをはがすことは、法律で禁止されています。
  - ・ 車載器認証ラベルがはがされた場合、本品に対する保証は受けられません。



## 4 車載器の各部の名称と主な機能

### アンテナ

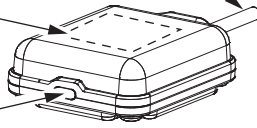
路側アンテナと通信します。

GPSアンテナ内蔵

GPS信号を受信します。

LEDは点灯しません。

アンテナケーブル



### インジケータ

インジケータケーブル

インジケータLED(緑色/赤色)

ETC利用状況とETC2.0サービスを表示します。

電源ケーブル

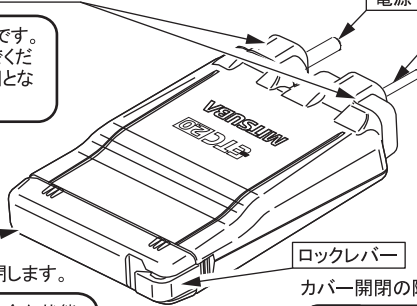
アンテナケーブル

ケーブル防水カバー



防水用のカバーです。絶対に外さないでください。故障の原因となります。

本体



カバー

ETCカードの抜き差し時に開閉します。

ロックレバー

カバー開閉の際に操作します。



ETCカード挿入が不完全な状態でカバーを閉めると、ETCカードの破損、故障の原因となります。



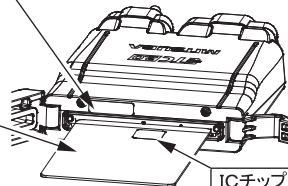
カバーを閉める際は、カチッと音がするまで押し込んでください。故障の原因となります。

車載器管理番号ラベル

車載器管理番号・型式登録番号が記載してあります。詳細は、29ページ<■ラベル>を参照してください。

ETCカード

ETCカードのICチップ面を上にし、挿入マークに従い挿入します。  
※ 挿入マークは、ETCカードにより異なります。



ICチップ

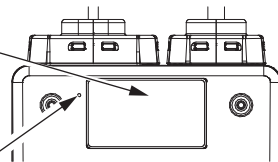
カバー開状態

車載器管理番号ラベル

車載器管理番号・型式登録番号が記載してあります。詳細は、29ページ<■ラベル>を参照してください。

呼吸穴

ケース内の気圧を調整し、防水性を保ちます。



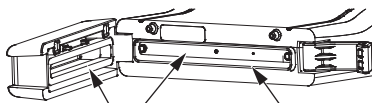
本体裏面



呼吸穴は、両面テープ等で絶対にふさがらないでください。故障の原因となります。



防水リップ、ガードパッキン、カバー内側の防水パッキンに、ほこりや汚れ等が付着していた場合は、すぐに取り除いてください。故障の原因となります。



防水パッキン

ガードパッキン

防水リップ

## 5 ETC2.0車載器の機能について

本品は、ETC2.0車載器として、以下の2つの機能に対応しています。  
インジケータのLED表示の詳細は、10～15ページを参照してください。

### ① ETC機能(自動料金支払いシステム)

- ・本品はETC車載器として、高速道路等の自動料金支払いができます。ETC機能の動作状況をインジケータのLEDで表示します。

### ② ETC2.0サービス機能

- ・本品と路側アンテナ(ITSスポット)が無線通信することによって、ETC2.0の一部サービスが受けられます。受信したサービスの内容は、インジケータのLEDで表示します。  
表示できるサービスは、限定されますので、以下を参照してください。

インジケータで表示できるサービス

路側アンテナから提供されるETC2.0サービスは各種ありますが、インジケータで表示可能な内容は、以下となります。

提供される情報の種類やタイミングによって、点滅時間が増えたり、点滅の速さが変化する場合があります。

#### (1) 情報提供サービス

- ・ 災害時支援情報.....表示します。
- ・ 安全運転支援情報.....表示します。
- ・ 注意警戒情報.....表示します。
- ・ 渋滞回避支援情報.....表示しません。

#### (2) 経路情報を活用したサービス

- ・ ダイナミックルートガイダンス等.....表示しません。



#### アドバイス

##### 情報提供サービスの事例

- ・ 災害支援情報  
地震の発生、トンネル火災の発生等による進入禁止、停車や避難等の行動が必要となる場合
- ・ 安全運転支援情報  
前方の渋滞発生、低速車両や合流車両等がある場合
- ・ 注意警戒情報  
気象情報、工事規制、災害等の情報が配信された場合

最新のETC2.0サービスについては、以下のホームページでご確認ください。  
国土交通省道路局

<https://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/etc2/index.html>

## 6 GPS機能について

本品がGPS信号を受信し、自車位置情報を入手することで、ETC2.0サービスの利用が可能となります。GPS信号を受信できないときやGPS異常が発生したときは、以下を参照してください。

### ① GPS信号を受信できないときの事例

- ・ ガレージや地下の駐車場にいる場合。
- ・ トンネルや地下道を走行している場合。
- ・ 大型トレーラーや大型バスなどの車高の高い車両が車両周辺にある場合。
- ・ 強い電波を発する機器等をアンテナ周辺に設置している場合。

### ② GPS異常(車載器の故障)の事例

- ・ 本体、又はアンテナの基板損傷。
- ・ 本体、又はアンテナ内部への浸水。
- ・ アンテナケーブルの断線。



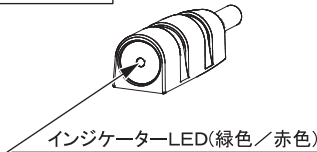
### アドバイス

上記の場合、以下のサービスや機能が受けられません。  
ただし、GPS異常が発生した場合でも、ETCの機能は利用可能です。

- ・ GPS情報(自車位置情報)を利用したETC2.0サービス
- ・ 渋滞等を迂回する経路を走行した場合の料金割引(走行履歴などの情報を送信できないため)
- ・ ETCカード有効期限切れ表示(GPS衛星からの日時情報が得られないため)

## ■ GPS信号受信時のLED表示

### インジケータ



	インジケータLED	備考
GPS受信中	—	※1
GPS受信完了	緑色の点滅、1秒周期2秒(点滅2回)	※2
GPS異常検知	緑色・赤色の交互点滅、2秒周期10秒	※3

※1 周囲の環境により、GPS信号を受信(完了)できるまでの時間が異なります。

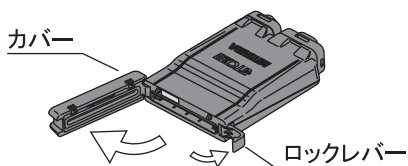
※2 GPS受信表示は、電源投入後(エンジン始動)に一度だけ点灯表示します。

GPS受信が一度途切れ、その後、再受信しても、GPS受信完了は表示されません。

※3 GPS異常を一度でも検知すると、電源を再投入するまで、GPS異常の状態が継続されます。(GPS機能は、利用できません)GPS異常が発生した際は、電源を再投入しGPS信号を再受信してください。

## 7 ETCカードの挿入方法(走行前)

1. ロックレバーを起こしてカバーを開けます。



2. ETCカードをカチッと音がするまで挿入してください。  
※挿入前にETCカードの有効期限が切れていないか確認します。

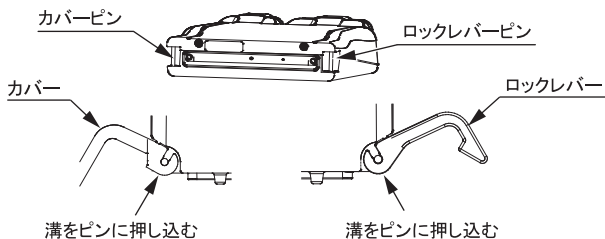


3. カバーを閉じ、ロックレバーでカチッと音がするまで押し込み、カバーを確実に固定します。

### アドバイス

カバーとロックレバーは、開口限界以上に開くと、ケースから外れる構造になっています。再度、取り付ける場合は、以下の手順で行ってください。

- 取付手順
- ・カバーの溝をカバーピンに押し込みます。
  - ・ロックレバーの溝をロックレバーピンに押し込みます。



注意

- ・本体カバーは、ETCカードの抜き挿しをする以外は、走行中・停車中にかかわらず、ロックレバーでカバーを確実に閉めた状態で、ご使用ください。故障の原因となります。
- ・ロックレバーには、横からの力を加えないでください。ロックレバーが変形し、確実に固定ができなくなります。
- ・水、湿気、ほこり等の多い場所では、ETCカードの抜き挿しをしないでください。故障の原因となります。
- ・本品を清掃する際や、ETCカードを挿入する際は、本体内部に異物や水分が入らないようにしてください。故障の原因となります。
- ・ETCカードが変形している場合は、本品に挿し込まないでください。故障の原因となります。

## 8 車載器の表示とメッセージ(電源投入時とカード挿入時)

### インジケータ



#### ■ 電源を投入してください。(エンジン始動)

電源を投入すると、自己診断を開始しますが、診断中のインジケータLEDは消灯したままとなります。※1

※1 自己診断中は、ETCカードの抜き挿しを行わないでください。  
ETCカードが、使用できなくなる場合があります。

その後、ETCカードの有無によって、以下の表示をします。

ETCカード未挿入時

赤色の点灯、1秒 → 緑色の点灯、1秒 → 消灯

ETCカード挿入時

赤色の点灯、1秒 → 緑色の点灯、1秒 → (消灯) → 緑色の点灯

#### ■ ETCカード挿入時のLED表示

		インジケータLED
利用可能なETCカード挿入時 ※2 ※3		緑色の点灯
有効期限の切れたETCカード挿入時 ※4 ※5	GPS正常時	赤色の点滅、0.5秒周期を継続
	GPS異常時	緑色の点灯を継続 (有効期限表示不可)
ETCカード挿入異常時 ※6		赤色の点滅、0.5秒周期を継続

※2 インジケータLEDが緑点灯の場合でも、開閉バーが開かないことがありますので、20km/h以下に減速した上で徐行し、注意して料金所を通過してください。

※3 利用が停止されているETCカードを挿入しても、インジケータLEDの緑点灯(利用可能なETCカードとして)表示されますので、注意してください。

※4 周囲の環境により、GPS信号を受信(完了)できるまでの時間が異なります。

※5 GPS異常時は、インジケータが以下の表示をします。

・インジケータLED表示 … 緑色・赤色の交互点滅、2秒周期10秒

※6 ETCカードの挿入方向やICチップの汚れ、破損、変形等していないか確認してください。  
汚れや破損、変形等が見られる場合は、ETCカード発行会社へ連絡してください。

#### ■ ETCカード未挿入時のLED表示

	インジケータLED
正常時	消灯

#### ■ 車載器未セットアップ時のLED表示

	インジケータLED
未セットアップ時	赤色の点滅、1秒周期で6回 → 2秒消灯 (以降繰り返し)

#### ■ 車載器故障時のLED表示

	インジケータLED
車載器異常時	赤色の点滅、1秒周期で4回 → 2秒消灯 (以降繰り返し)

## 9 車載器の表示とメッセージ(走行時)

### インジケータ



インジケータLED(緑色/赤色)

#### ■ 入口ETCゲート(検札用) 通過時のLED表示

	インジケータLED
正常時	緑色の点灯を継続
ETCカード未挿入時 ※1	赤色の点滅、0.3秒周期15秒 → 消灯
通信異常時 ※1	赤色の点滅、0.3秒周期15秒 → 消灯
ETCカード処理異常時 ※1	赤色の点滅、0.5秒周期を継続

※1 3ページ<■もしも、開閉バーが開かなかつたら……>を参照してください。

#### ■ 出口ETCゲート(精算用) 通過時のLED表示

	インジケータLED
正常時	緑色の点灯を継続
ETCカード未挿入時 ※2	赤色の点滅、0.3秒周期15秒 → 消灯
通信異常時 ※2	赤色の点滅、0.3秒周期15秒 → 消灯
ETCカード処理異常時 ※2	赤色の点滅、0.5秒周期を継続

※2 3ページ<■もしも、開閉バーが開かなかつたら……>を参照してください。

引き続き、高速道路をご利用される方は、11~12ページの手順に従い、本品が正常に動作していることを確認してから、走行してください。



#### アドバイス

フリーフロー型料金所、スマートICの場合でも、同様の表示をします。

- ・フリーフロー型料金所は、開閉バーの無い料金所です。
- ・スマートICは、SA、PAに設置された、ETC専用のインターチェンジです。

## インジケータ



### ■ 予告アンテナ・お知らせアンテナ・チェックバリア通過時のLED表示

	インジケータLED
正常時	緑色の点灯を継続
ETCカード未挿入時 ※1	赤色の点滅、0.3秒周期15秒 → 消灯
通信異常時 ※1	赤色の点滅、0.3秒周期15秒 → 消灯

※1 ETC車線をご利用できません。係員のいる車線にお進みください。



#### アドバイス

- ・ 予告アンテナは、ETC車線の利用可否を通知するアンテナです。
- ・ お知らせアンテナは、ETCカードの未挿入を通知するアンテナです。
- ・ チェックバリアは、本線上の走行経路をチェックするアンテナです。

### ■ ITSスポット通過時のLED表示

ITSスポットを通過したときに、最新の情報をLEDで表示します。

	インジケータLED	
	ETCカード挿入時(ETC利用可能な状態)	ETCカード未挿入時
災害時支援情報	緑色・赤色の交互点滅 0.2秒周期10秒 → 緑色の点灯	赤色の点滅 → 消灯 0.2秒周期10秒
安全運転支援情報	緑色・赤色の交互点滅 0.2秒周期10秒 → 緑色の点灯	赤色の点滅 → 消灯 0.2秒周期10秒
注意警戒情報 ※2	緑色の点滅 0.2秒周期3秒 → 緑色の点灯	緑色の点滅 → 消灯 0.2秒周期3秒

※2 注意警戒情報の中には、ITSスポット通過時に表示しない情報があります。その情報を受信した場合は、必要となる地点へ到達した時点で表示します。



路側システムに設置された表示器や音声出力装置などから情報案内がある場合はその指示に従い行動をしてください。停車をする際は、周囲・後方等を確認しゆっくりと左側に寄ってください。事故の原因となります。

## 10 表示内容一覧

### インジケータ



インジケータLED(緑色/赤色)

### ■ 正常時の表示内容一覧(カード挿入時)

状 況	インジケータLED	備 考
電源投入直後、自己診断結果正常時	赤色の点灯 → 緑色の点灯 → 消灯 1秒 1秒	
ETCカード正常認証時	緑色の点灯、0.5秒 → 消灯 → 緑色の点灯	
ETCゲート(入口・出口)通過時	緑色の点灯を継続	
GPS受信時	10ページを参照してください。	
予告/お知らせアンテナ/チェックバリア通過時	緑色の点灯を継続	※1 ※6
電源投入後、初回GPS信号受信時	緑色の点滅、1秒周期2秒(点滅2回)	受信時に表示。
ITSスポット通過時	14ページを参照してください。	※2

### ■ 異常時の表示内容一覧

状 況	インジケータLED	備 考
電源投入直後、自己診断結果異常時	赤色の点滅、1秒周期で4回点滅し、2秒消灯 (以降繰り返し)	車載器に異常があります。 ※3 ※5
未セットアップ時	赤色の点滅、1秒周期で6回点滅し、2秒消灯 (以降繰り返し)	車載器が未セットアップです。 ※5
車載器異常時	赤色の点滅、1秒周期で4回点滅し、2秒消灯 (以降繰り返し)	車載器に異常があります。 ※3 ※5
ETCカード挿入異常時	赤色の点滅、0.5秒周期を継続	ETCカードを認識しません。 ※4 ※5
GPS異常時	10ページを参照してください。	GPS機能に異常があります。 GPS機能を利用したETC2.0サービスの利用ができません。
ETCカード処理異常時	赤色の点滅、0.5秒周期を継続	ETCゲート通過時に表示。 ※5
ETCカード未挿入時	赤色の点滅、0.3秒周期15秒 → 消灯	ETCゲート/予告/お知らせアンテナ/チェックバリア通過時に表示 ※5 ※6
通信異常時	赤色の点滅、0.3秒周期15秒 → 消灯	ETCゲート/予告/お知らせアンテナ/チェックバリア通過時に表示 ※5 ※6

※1 ETCテスター使用時も、この表示をします。(カード未挿入時、インジケータLED10秒間点灯)

※2 注意警戒情報の中には、ITSスポット通過時に表示しない情報があります。その情報を受信した場合は、必要となる地点へ到達した時点で表示します。

※3 車載器異常の種類によっては、電源投入直後に表示されない(消灯状態)場合があります。

※4 ETCカード挿入異常表示には、ETCカード有効期限切れが含まれます。有効期限の切れたカードを挿入された場合、電源投入直後は正常表示をしていますが、GPS信号を受信直後からETCカード挿入異常の表示へ移行します。

※5 ETC車線を利用できませんので、係員のいる一般車線にお進みください。

※6 予告アンテナ・お知らせアンテナ・チェックバリアについては、14ページ<アドバイス>を参照してください。



## 11 トラブルシューティング

トラブル発生時は、以下の点検と処置をしてください。

	症状(トラブル)	推定される原因(点検内容)	処置
1	ETCカードが挿入できない。 (カバーが閉まらない)	ETCカードの変形	変形のないカードを使用してください。
		本体内部への異物混入	お買い上げの店舗へご相談ください。 (車載器の点検が必要です)
2	インジケータLEDの 緑色が点かない。	ETCカード未挿入	ETCカードを正しく挿入してください。 (有効期限に注意)
		電源ケーブルの接続不良や 断線など	お買い上げの店舗へご相談ください。
		車載器の故障	お買い上げの店舗へご相談ください。
3	インジケータLEDが 赤色の点滅、1秒周期で 6回 → 2秒消灯を繰り返している。	未セットアップ、又はセットアップ 処理異常	お買い上げの店舗へご相談ください。
4	インジケータLEDが 赤色の点滅、1秒周期で 4回 → 2秒消灯を繰り返している。	車載器の故障	お買い上げの店舗へご相談ください。
5	インジケータLEDが 赤色の点滅、0.5秒周期 を繰り返している。 (点滅が止まらない)	ETCカード以外のカード挿入	ETC専用カードを使用してください。 (ETCマークを確認してください)
		ETCカードの変形	変形のないカードを使用してください。
		ETCカードの挿入向き不適切	ETCカードを正しく挿入してください。 (挿入の方向と表裏に注意)
		ETCカードのICチップ面の汚れ 破損など	ETCカードのICチップ面を清掃して ください。
		ETCカードの有効期限切れ	ご利用可能なETCカードをご使用くだ さい。
6	インジケータLEDが 緑色・赤色の交互点滅 2秒周期10秒をして いた。	GPS異常検知(車載器の故障)	お買い上げの店舗へご相談ください。
7	料金所で開閉バーが 開かない。※	ETCカードの有効期限切れ 又は利用停止	ご利用可能なETCカードをご使用くだ さい。
		アンテナ付近の遮蔽物	遮蔽物が電波を妨害していますので 除去してください。
		通信不良	お買い上げの店舗へご相談ください。

※ ETC車線を通行中に開閉バーが開かなかった際は、後続車両による追突事故の防止などお客様の安全を確保するため、開閉バー及び後続車両等に十分注意を払い、安全を確認の上、開閉バーを避けてETC車線から退避してください。この場合、駐停車が禁止されていない場所から安全を確認の上、遅滞なく当該道路を管理する道路事業者(高速道路会社など)に連絡し、指示に従ってください。

ETC車線から後退、Uターン等をしたり、他の車線に移動しないでください。バックすると後続車に追突される危険がありますし、バック等して他の車線に入り直すことは、エラー発生の原因となります。又、後続車のエラーを誘発することとなり危険です。

## 12 ETC利用Q&A

本Q&Aは下記ホームページから抜粋した内容に基づいています。

一般財団法人 ITS サービス高度化機構(ITS-TEA): <https://www.its-tea.or.jp/>

ETC 総合情報ポータルサイト(ITS-TEA): <https://www.go-etc.jp/>

<b>Q</b>	ETCとは。ETCの仕組みは。どうすれば使えるのか。負担する費用は。
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>ETCとは“Electronic Toll Collection System”の略称で無線を使って自動的に有料道路の通行料金の支払いを行うシステムです。これにより、スムーズで快適な料金所通過が可能となります。</li><li>ETCカードを車載器に挿入した車が料金所のETC車線を通過すると、料金所のアンテナと車載器との間で無線により有料道路の料金支払いに必要な情報が交信され、係員の手を介することなく自動的に料金の支払いが行われる仕組みです。</li><li>ETCをご利用になるためにはETCカードと二輪車用ETC車載器が必要です。ETCカードは、クレジットカード会社等から発行されます。二輪車用ETC車載器はバイク販売店など二輪車用ETCショップのステッカーのある店舗で購入でき、取り付け、セットアップ(車両情報の登録)は別途必要となります。また、車載器の購入・取付費用、セットアップ費用の他ETCカード発行に伴う会費が必要になります。</li></ul>
<b>Q</b>	セキュリティはどのようになっているか。
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>決済はETCカードと呼ばれるICカードを使って行われます。このICカードは磁気カードに比べ、はるかに高いセキュリティを確保しています。また車載器や料金所システムでも高度な暗号化を行い、十分なセキュリティを確保しています。</li><li>本品は、新セキュリティ規格に対応しています。</li></ul>
<b>Q</b>	ETCカードはレンタカーや他人の二輪車でも使えるのか。
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>ETCカードと車載器はそれぞれ独立しており、ETCカードはどの車の車載器にも使用可能です。従って、レンタカーや他人の車でも使えます。利用料金はそのETCカードのクレジット契約口座から引き落としとなります。</li></ul>
<b>Q</b>	四輪車への取り付けはできるのか。
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>本品は二輪車専用です。四輪車への取り付けは行わないでください。</li></ul>
<b>Q</b>	ETCを使って有料道路に入り、ETC車線が設置されていない料金所ではる場合はどのように通過するのか。
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>出口で料金所係員のいる料金所ブースで停車し、ETCカードを渡し、ICカードリーダーを通して決済します。現金を支払うことなく通過できます。</li></ul>

Q	<p>入口でETC車線がなく、通行券をもらって有料道路に入り、出口でETC車線が設置されている場合はどのように通過するのか。</p>
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出口で料金所係員のいる料金所ブースで停車し、通行券と一緒にETCカードを渡し、ICカードリーダーを通して決済します。この場合も現金を支払うことなく通過できます。</li> </ul>
Q	<p>車載器が故障のときや、ETCカードを忘れた場合はどうなるか。</p>
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ETCカードが挿入されていないとETCを利用できないので一般車線又は混在車線を利用ください。車載器が故障の場合は開閉バーが上がらず、車載器か路側表示器に通信不良等のエラーメッセージが出ます。その時はインターホンにより料金所係員の指示に従ってください。</li> </ul>
Q	<p>領収書は受け取れるのか。</p>
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノンストップによる支払い方式のためその場では受け取れませんが、【ETC利用照会サービス】のホームページにて利用照会ができます。ホームページを参照ください。 ETC利用照会サービス：<a href="https://www.etc-meisai.jp/">https://www.etc-meisai.jp/</a></li> </ul>
Q	<p>ETC車載器とETC2.0対応車載器の違いって何？</p>
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ETC車載器は、主に有料道路の通行料金の“收受”⇒“支払”システムに用いられていますが、ETC2.0対応車載器は、ETC機能をあわせ持ち、ITSスポットでサービスを受ける機能を持つ車載器です。</li> </ul>
Q	<p>ETCカードは持っています。ETC2.0サービスを利用する場合は、あらたにカードが必要ですか。</p>
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要ありません。現在、ETC2.0サービスでは新たなカードを必要とするサービスは行っていません。ETCサービスをご利用の場合は、お手持ちのETCカードでご利用いただけます。</li> </ul>

## 〈お客様へ〉

ETC2.0車載器の取り付け、配線及び付け替えは、専門の技術と経験が必要です。必ずお買い上げの店舗にご依頼ください。

## 〈取り付けに関するお願い〉

以下の場合には、保証対象外となりますので、ご注意ください。

- ・弊社と取引契約を交わしていない店舗が取り付けされた場合。
- ・お客様ご自身での取り付けや取り付け直し、他の車両へ付け替えされた場合。

又、弊社の保証対象は、車載器のみに限られます。車載器の取り付けやご使用に伴って発生した、いかなる損害についても、保証の対象となりませんので、ご注意ください。

## 〈車載器販売店様へ〉

本品をお取り付けいただく前に、本書を必ずお読みいただき、正しくお取り付けください。

## 1 取り付け上の注意事項

本書では、特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。



この記載内容を守らなかった場合、死亡又は重症を負う可能性があることを示しています。



この記載内容を守らなかった場合、けがをしたり物的な損害を受けたりする可能性があることを示しています。

ここには、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



- 本品は、DC12V二輪車専用です。バッテリーレス車や電源電圧の異なる車両には、取り付けできません。又、これ以外の用途には、使用しないでください。本品や周辺機器の故障、火災、事故の原因となります。
- 年式の古い二輪車において、ジェネレーターやレギュレーターなどの発電・充電システムが劣化し、不安定な電圧や瞬時の高電圧が発生している場合があります。事前に発電・充電システムや配線等の点検、必要に応じ、部品の交換等の処置を行ってください。故障、事故の原因となります。
- 本体、アンテナ、インジケーター等は、走行中に外れないよう、確実に固定してください。破損、故障、事故の原因となります。
- 本体、アンテナ、インジケーターを振動や衝撃の多い場所、不安定な台の上などに設置しないでください。故障、事故の原因となります。
- 本体、アンテナ、インジケーターの各ケーブルを固定、引き回す際は、以下に注意してください。破損、故障、火災、感電、事故の原因となります。
  - ・エンジン周辺等、高温になる場所を避ける。
  - ・車両部品のバリや鋭利な部分に接触させない。
  - ・車体やネジ部等の可動部に挟み込まない。
  - ・無理な力が加わらないよう、たるみを持たせる。
- 濡れた手で、取り付けを行わないでください。感電、故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートし、火災、感電、故障の原因となります。お取り付けいただく車種によっては、バッテリーを外すと車載コンピューターが誤作動する恐れがあります。事前に車両メーカー等へご確認してください。
- 本品は、運転の妨げとならない場所に取り付けてください。事故、けがの原因となります。
- 取り付け作業が終了しましたら、必ず取り付け作業後の確認を行ってください。火災、故障、事故の原因となります。
- 本品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障、事故の原因となります。又、改造は、電波法違反となります。



- 本体、アンテナ、インジケータは、水、湿気、ほこり、油煙等の多い場所を避けて設置してください。故障の原因となります。
- 電源ケーブルは、本品に付属の電源ケーブルを必ず使用してください。又、取り付けの際は、電源の極性をご確認の上、間違いないよう接続してください。故障の原因となります。
- バッテリーから直接電源を取らないでください。常に電源が入った状態となり、バッテリー上がりの原因となります。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの店舗へ原因の確認とヒューズ交換をご依頼ください。交換するヒューズは、必ず規定の容量（アンペア数）を守ってください。故障の原因となります。
- 本品の電源ケーブルから、他の機器へ電源を供給しないでください。正常に動作しなかったり、故障の原因となります。
- 本体、アンテナ、インジケータを落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。破損、故障の原因となります。
- 本体、アンテナ、インジケータ、ケーブル等にガソリン、潤滑剤、有機溶剤、酸等を付着させないでください。付着部が劣化し、破損、故障の原因となります。

## 2 セットアップについて

本品は、ご使用になる車両の情報を書き込まなければ、ご使用いただけません。これをセットアップといいます。本品をご使用いただく前に、必ず26ページ<⑪車載器のセットアップをします>に従い、正しくセットアップを行ってください。セットアップは原則として、本品を車両に取り付けた後に行っていただきます。

本品を他の車両に付け替える場合や、住所変更等により車両のナンバープレートが変更になる場合等は、再度のセットアップが必要となります。



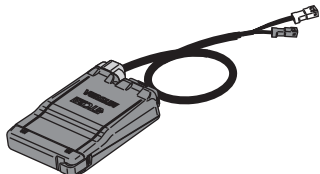
### アドバイス

セットアップに関するお問合せ先については、30ページ<●セットアップに関して>を参照してください。

## 3 構成部品

お取り付けの前に、すべて部品が揃っているか確認してください。

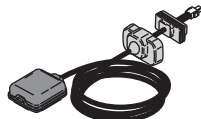
① 本体



② 電源ケーブル



③ アンテナ



④ インジケータ



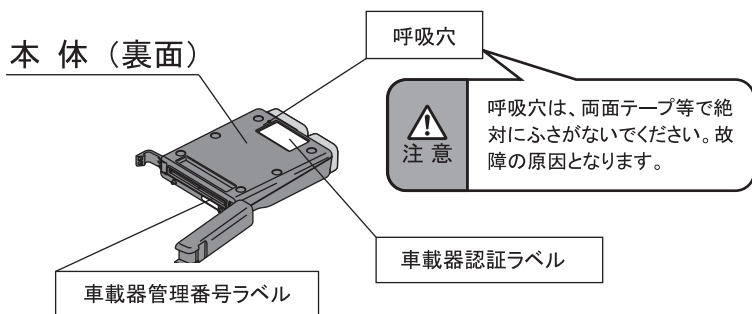
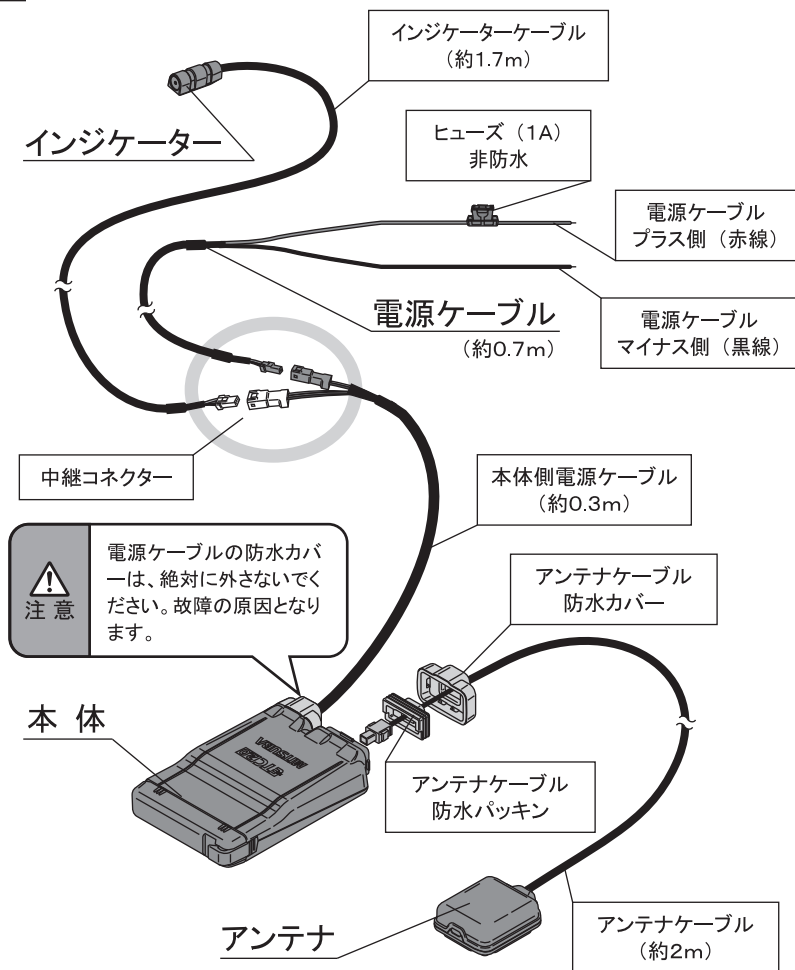
⑤ 両面テープ（本体用）



⑥ 取扱説明書／  
取付手順書（本書）



#### 4 各部の名称・他



**注意** 車載器管理番号ラベル、車載器認証ラベルは、絶対にはがさないでください。詳細は、29ページ<■特記事項 注意>を参照してください。

## 5 取り付け方法

### 1 取付作業前の確認

取付作業を始める前に、以下について確認してください。

- ・本体と梱包箱に記載された車載器管理番号（C/D番号含む20桁）に相違がないか確認してください。
- ・セットアップ申込書に記載された取付車両の車両番号とお客様の取付車両のナンバープレート番号に相違がないか確認してください。
- ・お取り付けいただく車種によっては、バッテリーを外すと車載コンピューターが誤作動する恐れがあります。事前に車両メーカー等へご確認してください。

### 2 アンテナの設置条件

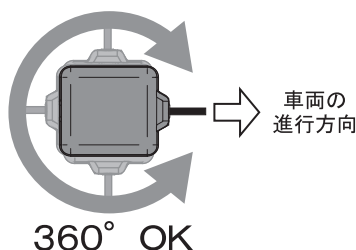
路側アンテナ、GPS衛星からの電波を受信できるよう、以下の設置条件を満たす取付場所を選定してください。

お取り付けには、取付車両に適した市販のステー等を別途ご用意ください。

#### ① アンテナの取付方向

（ケーブルの引き出し方向）

車両の進行方向に関わらず、アンテナケーブルをどの方向から出しても、通信性能上は問題ありません。

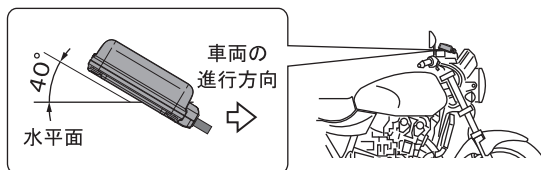


#### ② 取付角度

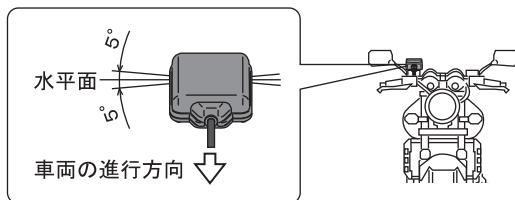
（進行方向に対する前後、左右の角度）

アンテナの天面が、必ず上を向くように設置してください。

- ・前後の傾きは、進行方向に対し、水平～前傾40° の範囲で取り付けてください。



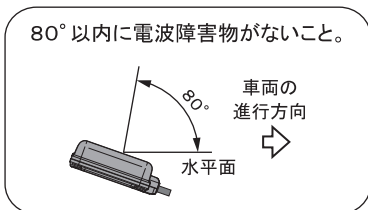
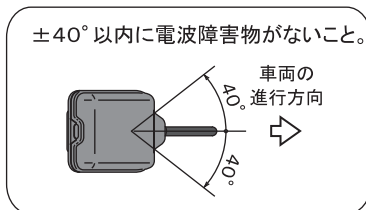
- ・左右の傾きは、進行方向に対し、左右各5° 以内の範囲で取り付けてください。



## 2 アンテナの設置条件

### ③ 電波障害物

金属部品、メッキ部品、チタンコートスクリーン等は、電波の障害物となります。進行方向に対し、以下に示す範囲に電波の障害物がないように取り付けてください。又、人体も電波を遮りますので、必ず運転者より前方に取り付けてください。

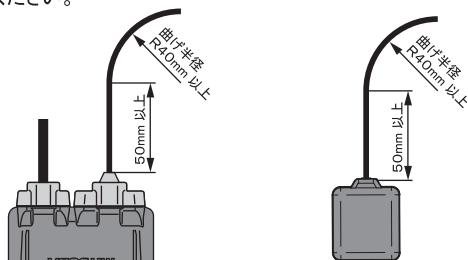


安定した通信のために…

- ・ 設置後は、ETCテスターで通信が正常にできるか必ず確認してください。又、GPS信号が正常に受信できていることも確認してください。  
※GPS信号は、周囲の環境によって受信するまでに30秒から数分かかる場合があります。

### ④ その他の設置条件

- ・ 運転者の視界を遮ったり、他の装置の操作を妨げない場所に、アンテナを設置してください。
- ・ 過度な振動、衝撃のない場所に設置してください。
- ・ アンテナのケース表面が、カウル等の部品に接触しないよう設置してください。
- ・ ハンドルを左右にロックするまで切っても、アンテナがカウルやミラー等に干渉しないように設置してください。
- ・ アンテナやケーブルに無理な力が加わらないように設置し、ケーブルにたるみを持たせてください。
- ・ エンジン周辺等、高温になる場所を避け、車両部品のバリや鋭利な部分と接触したり、可動部に挟み込まれないようにケーブルを引き回してください。
- ・ アンテナケーブルは、曲げ半径R40mm以下で折り曲がらないようにしてください。又、アンテナ本体及びコネクター部から50mmの範囲では、折り曲げが発生しないようにしてください。



### ⑤ HIDランプ装着車に取り付ける場合の設置条件

HIDランプ装着車の場合、HIDランプのコントロールユニット及びケーブルからのノイズで正常に通信が行えなくなる場合があります。HIDランプ装着車へお取り付けいただく場合、HIDランプのコントロールユニット及びケーブルから50mm以上離して、本体、アンテナ及びケーブル類を設置することを推奨いたします。



### 3 取付手順

- ① 本体、アンテナ、インジケーターの固定位置を決め、周辺のゴミ、ホコリ、油污れ等をきれいに拭き取ります。
- ② アンテナの設置条件が守られているか確認し、アンテナケーブルを本体まで引き回します。

アンテナケーブルは、高温部、可動部を避け、無理な力が加わらないように、たるみを持たせ引き回してください。



警告

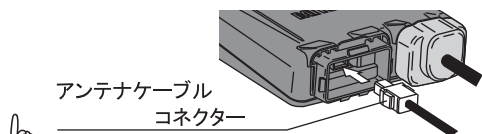
アンテナケーブルを引き回す際は、以下に注意してください。破損、故障、火災、感電、事故の原因となります。

- ・ エンジン周辺等、高温になる場所を避ける。
- ・ 車両部品のバリや鋭利な部分に接触させない。
- ・ 車体やネジ部等の可動部に挟み込まない。
- ・ 無理な力が加わらないよう、たるみを持たせる。

- ③ アンテナケーブルを下記手順で本体に接続します。

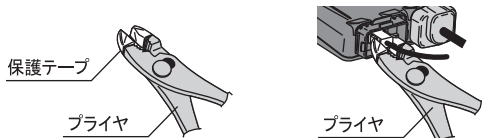
1. アンテナケーブルのコネクターを本体へ確実に接続します。

※カチッと音がして、コネクターのロックが掛かるまで押し込んでください。

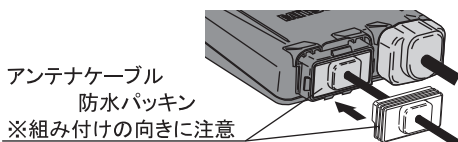


アドバイス

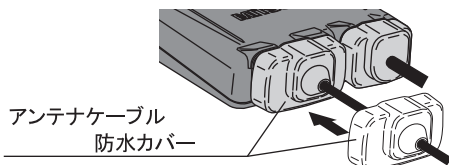
コネクターを外す際は、プライヤ等の先端に保護テープ等を巻くことでより安全に、傷をつけずロックを解除することができます。



2. アンテナケーブル防水パッキン全体を奥まで確実に押し込みます。



3. アンテナケーブル防水カバーを確実に装着します。

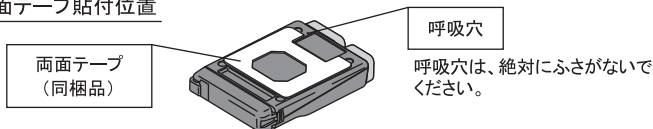


注意

- ・ 防水パッキン、防水カバーの押し込みと装着を確実にしてください。故障の原因となります。
- ・ 防水パッキン、防水カバーに切り込みを入れたり、破いたりしないでください。故障の原因となります。

- ④ 本体裏面に同梱の両面テープを貼り付けます。  
本体裏面の両面テープ貼付位置を確認してから、両面テープの台紙をはがしてください。

両面テープ貼付位置



警告

- ・両面テープを貼り付ける際は、本体裏面を無水アルコール等で良く拭き取り、完全に乾いてから貼り付けてください。脱落、事故の原因となります。
- ・低温時の両面テープ貼り付け作業は、避けてください。粘着力が低下し、脱落、事故の原因となります。
- ・両面テープの貼り直しは、しないでください。粘着力が低下し、脱落、事故の原因となります。



注意

呼吸穴は、両面テープ等で絶対にふさがないようにください。故障の原因となります。

- ⑤ 下記条件のもとに本体、アンテナ、インジケーターを車両へ固定します。
- ・本体を設置する位置で、ETCカードの抜き挿しに支障がないことを確認し、車両の貼り付ける位置をきれいにした上で、両面テープで固定してください。
  - ・アンテナを設置する位置が、設置条件を満たしていることを確認し、車両の貼り付ける位置をきれいにした上で、両面テープで固定してください。
  - ・インジケーターを設置する位置で、乗車時にLEDを視認できることを確認し、車両の貼り付ける位置をきれいにした上で、両面テープで固定してください。



警告

- ・両面テープで固定する際は、車両の貼り付ける位置を無水アルコール等で良く拭き取り、完全に乾いてから貼り付けてください。脱落、事故の原因となります。
- ・両面テープの低温時の貼り付け作業や曲面、凹凸面への貼り付けは、避けてください。粘着力が低下し、脱落、事故の原因となります。
- ・本体、アンテナ、インジケーターの貼り直しは、しないでください。両面テープの粘着力が低下し、脱落、事故の原因となります。

- ⑥ 電源ケーブルのプラス側(赤線)を接続します。  
車両のイグニッションキーが、ONのときに12V、OFFのときに0Vとなる場所に確実に接続してください。



警告

電源ケーブルを接続する際は、必ず車両のイグニッションキーをOFFにしてから、作業してください。ショートし、火災、感電、故障の原因となります。



注意

バッテリーから直接電源を取らないでください。常に電源が入った状態となり、バッテリー上がりの原因となります。

- ⑦ 電源ケーブルのマイナス側(黒線)をバッテリーのマイナス端子、又はボディアースへ接続します。



注意

ボディアースへ接続する際は、取付車両メーカーへ確認し、指定のアースポイントに接続してください。正常に動作しなかったり、故障の原因となります。

⑧ 電源ケーブル、インジケータケーブルを引き回し、中継コネクタを接続します。

電源ケーブル、インジケータケーブルは、高温部、可動部を避け、無理な力が加わらないように、たるみを持たせ引き回してください。



本体、インジケータの各ケーブルを引き回す際は、以下に注意してください。破損、故障、火災、感電、事故の原因となります。

- ・ エンジン周辺等、高温になる場所を避ける。
- ・ 車両部品のバリや鋭利な部分に接触させない。
- ・ 車体やネジ部等の可動部に挟み込まない。
- ・ 無理な力が加わらないよう、たるみを持たせる。



- ・ 中継コネクタの接続は、確実にしてください。故障の原因となります。
- ・ 電源ケーブルのヒューズは、防水仕様ではありません。水の掛からない場所に設置してください。故障の原因となります。

⑨ 各ケーブルを固定します。

電源ケーブル、アンテナケーブル、インジケータケーブルは、クッション等で保護し、結束バンド等で固定してください。



電源ケーブル、アンテナケーブル、インジケータケーブルを固定する際は、以下に注意してください。破損、故障、火災、感電、事故の原因となります。

- ・ エンジン周辺等、高温になる場所を避ける。
- ・ 車両部品のバリや鋭利な部分に接触させない。
- ・ 車体やネジ部等の可動部に挟み込まない。
- ・ 無理な力が加わらないよう、たるみを持たせる。

⑩ 車両を復元し、車両の動作を確認します。

本品を取り付けする際に取り外した部品を元通りに取り付け、車両の装置及び電装品が、すべて正常に動作することを確認してください。

⑪ 車載器のセットアップをします。

1. 車両のイグニッションキーをONにしてください。(電源を投入)
2. インジケータLEDが、赤色の点灯、1秒 → 緑色の点灯、1秒 をした後に以下のパターンで点滅を繰り返していることを、確認してください。  
赤色の点滅、1秒周期で6回 → 2秒消灯 (以降繰り返し)
3. 本体のカバーを開け、セットアップカードを挿入してください。  
セットアップカードを挿入すると、インジケータLEDが、緑色で0.5秒点灯しセットアップを開始します。  
※セットアップ中は、インジケータLEDは、消灯します。セットアップカードを抜いたり、車両のイグニッションキーをOFF(電源を遮断)にしないでください。  
※カードの挿入方法は、11ページ< 7 ETCカードの挿入方法>を参照ください。
4. セットアップが正常に完了すると、インジケータLEDが、緑色で点灯します。  
※セットアップが正常に行えなかった場合は、インジケータLEDが、赤色の点滅0.5秒周期を繰り返します。その場合には、セットアップカードを抜いて、再度セットアップ作業をしてください。
5. セットアップカードを抜いて、イグニッションキーをOFFにしてください。  
(電源を遮断)

以上で、セットアップ作業は終了です。

#### 4 取付作業後の確認

お取り付けが完了しましたら、下記チェックリストで、取り付け状態及び動作の確認をしてください。

アンテナの設置条件について		チェック
1	天面が上を向き、前後の傾きは、進行方向に対して水平～前傾40°の範囲である。	
2	左右の傾きは、進行方向に対して左右各5°以内の範囲である。	
3	水平面を基準に上方80°以内、進行方向に対して左右各40°以内に電波を遮る障害物（金属部品、メッキ部品、チタンコートスクリーン等）がない。	
4	運転者より前方に設置してある。	
5	運転者の視界、運転操作を妨げない場所である。	
6	ハンドルを切っても車体に干渉しない場所である。	
7	無理な力が加わったり、圧迫されない場所である。	
8	エンジン等の熱の影響が少ない場所である。	
9	過度の振動、衝撃のない場所である。	
10	HIDランプ装着車の場合、HIDランプのコントロールユニット及びケーブルから50mm以上離れた場所である。	
お取り付けについて		チェック
11	インジケータLEDが運転席から視認できる。	
12	アンテナケーブルのコネクター、防水パッキン防水カバーが本体に確実に嵌合している。	
13	本体及びアンテナ、インジケータの固定に同梱の両面テープを使用している。又、両面テープの貼り直しはしていない。	
14	本体の裏側の呼吸穴をふさいでいない。	
15	本体の設置場所は、ETCカードの抜き挿しに支障のない場所である。	
16	電源ケーブルのプラス側は、イグニッションがOFFのときに、電源が遮断される場所に接続している。	
17	電源ケーブルのマイナス側はバッテリーのマイナス端子、又は確実なアースポイントに接続している。	
18	電源ケーブル及びインジケータケーブルの中継コネクターが確実に嵌合している。	
19	電源ケーブルのヒューズは、水の掛からない場所に設置している。	
20	アンテナケーブルは、曲げ半径R40mm以下で折り曲がっていない。	
21	アンテナケーブルは、アンテナ及び本体から50mm以内で折り曲がっていない。	
22	各ケーブルは、無理な力が加わらないように、たるみを持たせている。	
23	各ケーブルは、クッション等で保護され、ゆとりを持たせ、結束バンド等で固定されている。	

お取り付けについて		チェック
24	各ケーブルは、エンジン周辺等、高温になる場所を避けている。	
25	各ケーブルは、車両の可動部に挟み込まれないようにしている。	
26	各ケーブルは、車両部品のバリや、鋭利な部分に接触しないようにしている。	
車両について		チェック
27	取り外した部品は、元通り取り付けられている。	
28	車両の装置、電装品はすべて正常に動作している。	
車載器の動作について（セットアップ後）		チェック
※ インジケータのLED表示が、下記と異なる場合は、車載器の状態をもう一度確認してください。		
29	イグニッションキーOFFのとき ・インジケータLED … 消灯	
30	イグニッションキーON、ETCカード未挿入のとき ・インジケータLED … 赤色の点灯、1秒 → 緑色の点灯、1秒 → 消灯	
31	ETCカードを挿入したとき ・インジケータLED … 緑色の点灯、0.5秒 → 消灯 → 緑色の点灯	
32	ETCカードを抜いたとき ・インジケータLED … 消灯	
33	ETCテスターで通信確認を行ったとき ●ETCカード挿入時 ・インジケータLED … 緑色の点灯を継続 ●ETCカード未挿入時 ・インジケータLED … 緑色の点灯、10秒 → 消灯	
34	初回のGPS信号を受信したとき ・インジケータLED … 緑色の点滅、1秒周期で2秒	

ご使用の前に、必ず本書の取扱説明書のページをお読みいただき、正しくご使用ください。

## 製品仕様

本品の仕様及び外觀は、予告なく変更することがあります。

電源電圧	: DC12V車専用／約150mA(待機時)
動作温度範囲	: -20～85°C(ETCカード除く)
本体寸法	: 112.5mm(D)×81mm(W)×22mm(H)(突起部除く) 135.9mm(D)×81mm(W)×25.5mm(H)(突起部含む)
アンテナ寸法	: 44mm(D)×40mm(W)×15.8mm(H)(突起部除く) 49mm(D)×40mm(W)×15.8mm(H)(突起部含む)
インジケータ寸法	: 40mm(D)×13mm(W)×13mm(H)
本体質量	: 約150g(ケーブル除く)
アンテナ質量	: 約22g(ケーブル除く)
インジケータ質量	: 約7g(ケーブル除く)
電源ケーブル長さ	: 約1m(本体:約0.3m、付属ケーブル:約0.7m)
アンテナケーブル長さ	: 約2m
インジケータケーブル長さ	: 約2m(本体:約0.3m、インジケータ部:約1.7m)
用途	: 二輪車専用

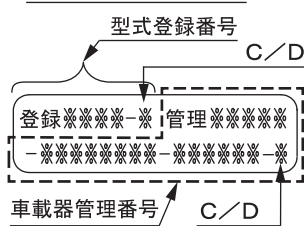
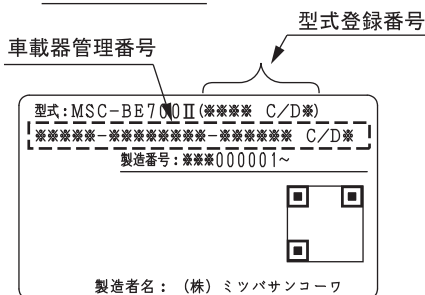
## ラベル

本体には、以下2枚のラベルが貼り付けてあり、それぞれ車載器管理番号と型式登録番号が記載されています。

車載器管理番号と型式登録番号には、C/D(チェックディジット)が付与され、再セットアップ時に入力が必要となりますので、ラベルは絶対にはがさないでください。

車載器認証ラベル  
(本体裏面貼付)

車載器管理番号ラベル  
(本体カード挿入口貼付)



※印は0～9までの数字。

## 特記事項

ここには、重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



警告

- ・二輪車を使用中、ジェネレーターやレギュレーターなどの発電や充電システムが劣化し、不安定な電圧や瞬時の高電圧が発生している場合があります。この状態で本品を使用した場合、本品が故障することがありますので、発電や充電システムや配線等の点検を定期的に行い、必要に応じた部品交換等の処置を行ってください。
- ・本品を火中に投入したり、焼却しないでください。爆発による火災や火傷の原因となり、大変危険です。本品を廃棄するときは、各地方自治体の条例や規則に従って処理してください。



注意

- ・本品は、電波法の基準に適合しています。本体に貼り付けられている車載器認証ラベルはその証明ですので、絶対にはがさないでください。又、車載器認証ラベルをはがすことは、法律で禁止されています。
- ・車載器認証ラベルをはがされた場合、本品に対する保証は受けられません。
- ・本品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制貨物に該当します。本品を輸出する場合は、同法に基づく輸出許可が必要です。

## ● ETCのご利用に関して

### 東日本高速道路株式会社

NEXCO東日本お客さまセンター 0570-024024

または 03-5338-7524

受付時間：24時間(年中無休)

### 中日本高速道路株式会社

NEXCO中日本お客さまセンター 0120-922-229

(フリーダイヤルがご利用できないお客さまは 052-223-0333)

受付時間：24時間(年中無休)

### 西日本高速道路株式会社

NEXCO西日本お客さまセンター 0120-924863

(フリーダイヤルがご利用できないお客さまは 06-6876-9031)

受付時間：24時間(年中無休)

### 本州四国連絡高速道路株式会社

本四高速お客さま窓口 078-291-1033

受付時間：9：00～17：30(年中無休)

### 首都高速道路株式会社

首都高お客様センター 03-6667-5855

受付時間：24時間(年中無休)

### 阪神高速道路株式会社

阪神高速お客さまセンター 06-6576-1484

受付時間：月～金 8：30～19：10

(土日・祝日・年末年始は9：00～18：00)

## ● ETCカード及び請求金額に関して

お手持ちのETCカード発行元にご確認ください。

## ● 車載器に関して

車載器の購入先、又は取扱説明書に記載されている連絡先にお問合せください。

## ● セットアップに関して

一般財団法人 ITSサービス高度化機構(ITS-TEA)

ETCお問い合わせ窓口 03-5216-3856

受付時間：月～金 9：00～18：00(土日・祝日・年末年始を除く)

上記は、2019年1月 現在の情報です。予告なく変更することがあります。

## 保証規定(よくお読みください)

- 保証期間内であっても、次のような場合には有償の修理・交換となります。
    - (イ) 本保証書のご提示がない場合。
    - (ロ) 本保証書に記載されているお買い上げ日、お客様名、販売店様名などに記入不足がある場合、又は字句を書き換えられた場合。
    - (ハ) 本体の車載器認証ラベルがはがされている場合、又は本保証書に記載されている管理番号と本体の車載器認証ラベルが一致しない場合。
    - (ニ) お買い上げ後の輸送、移動時の落下など、お取り扱いの不備による故障及び損傷。
    - (ホ) 本書記載の使用上の注意事項、取り付け上の注意事項を守られなかったことにより発生した故障及び損傷。
    - (ヘ) 本品を分解したり改造したりした形跡が認められた場合。
    - (ト) 地震、落雷、風水害などの天災、火災による故障及び損傷。
    - (チ) 落下、衝撃、浸水、結露、転倒、事故等による故障及び損傷。
    - (リ) 外的要因による故障及び損傷。
  - 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
  - 本保証書を紛失した場合は、再発行いたしませんので大切に保管ください。
  - 次に示す費用は負担いたしません。
    - (イ) 本品の修理以外の損害。(料金所設備、車両の修理費、脱着工賃など)
    - (ロ) 本品を使用できなかったことによる、不便さ及び損失。(電話代、けん引代、レンタカー代休業補償、商機損失など)
  - 無償修理にて交換した部品・本体等は、基本的に株式会社ミツバサンコーワの帰属となります。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて修理・交換をお約束するものです。  
この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理・交換なお、ご不明な場合は、技術サービスにお問い合わせください。

### お客様へ

このたび、お買い求めいただきました車載器について、お買い上げ日から起算して、3年以内に製造上を起因とする故障が生じた場合、無償で修理又は交換いたします。保証期間内でも、有償となる場合がありますので、上記の保証規定をよくお読みください。



SE-19-900-022-00  
E-032-062-A